

聴講募集 第22回環境技術学会 年次大会



■期日:2022年10月22日(土) 研究発表会・講演会・表彰・交流会
 ■会場:京都大学吉田キャンパス総合研究5号館(京都市左京区吉田本町)オンライン併用
 ■主催:環境技術学会, 京都大学地球環境学堂 ■共催:日本水環境学会関西支部
 大会専用サイト(年次大会案内 URL): http://jriet.net/blog_taikaiinkai/からお申込ください

土木学会認定 CPD プログラム 認定番号:JSCE22-0979 単位数:5.5 単位
 発表者と聴講者の利便性に配慮し、会場とオンラインを併用したハイブリッド方式とします。
 共催の日本水環境学会会員も環境技術学会会員価格で聴講できます。



- (1)聴講者参加費:会員 6,000円, 学生会員 4,000円, 非会員 10,000円
 (2)講演会のみ参加費:会員 1,000円, 非会員 2,000円 (年次大会参加者は, 申込なしで参加できます)
 (3)交流会参加費:一般(会員・非会員) 6,000円, 学生会員 3,000円 ※参加費は当日現地でお支払いください。
 (4)申込スケジュール(カード決済・振込)2022年6月6日(月)～10月10日(月)
 ※10月11日以降の申込は, 当日会場で受け付けますが1,000円の追加料金をいただきます。
 (5)プログラム, 予稿集の公開:プログラムと予稿集PDF版は, 9月中旬に大会専用サイトに掲載します。
 講演会のみ参加者を除く全員に, カラー版の予稿集(A4版の印刷冊子)を事前に送付します。

お問合せ先:環境技術学会大会委員会 (E-mail) taikai_info@jriet.net

研究発表会・講演会・表彰・交流会 プログラム (P賞:プレゼンテーション賞セッション)

	Room A(202)	Room B(202)	Room C(212)	Room D(106)
分野	A1(1)【汚水処理】P賞	B1(1)【土壌改善】P賞	C1(1)【水環境】	D1(1)【地球環境】
9:30 ～ 9:45	A1-1 趙文釗 (東北大), 生ごみメタン発酵ろ液を処理するための二槽式 PN/A プロセスに関する試験研究	B1-1 平野廣佑 (和歌山工業高専), 護岸工事による底質内有機物含有率への影響	C1-1 藤川陽子 (京都市大), 環境水質の大規模データに対する探索的データ分析	D1-1 維梓程 (立命館大), 日中協力による第三国の太陽光発電事業導入に関する経済環境便益分析
9:45 ～ 10:00	A1-2 韋燕霄 (東北大), 一槽式 PN/A 法による低濃度窒素排水処理の安定維持における基質競合の効果	B1-2 海津啓吾 (群馬大), 微生物燃料電池による溶存酸素測定と底質改善効果の検証	C1-2 須戸幹 (滋賀県立大), 水辺に散布された非選択除草剤の水環境への流出と残留	D1-2 中島寛則 (名古屋市環境科学調査センター), 湧水を活用したヒートアイランド対策効果の検証
10:00 ～ 10:15	A1-3 杜潤達 (東北大), 都市下水の嫌気性 MBR 処理における物質変換と元素収支	B1-3 笠井颯仁 (金沢大), 六価クロム含有土壌に対する生分解性キレート剤を用いた化学洗浄	C1-3 藤井滋穂 (京都市大), バンコク近郊 Salaya 地区における水利用実態の調査報告	D1-3 佐野寛 (地球エネルギーシステム研), 森林環境における複合エネルギー生産性(PV・光合成)
10:15 ～ 10:30	A1-4 王添頡 (東北大), 機械学習に基づく嫌気性 MBR 生活排水処理プロセスにおける膜ファウリング予測モデルに関する研究	B1-4 Wang Yajie (岐阜大), Soil heavy metal-induced stress on the transfer of Metal Resistance Genes from potential hosts under coal mining disturbance	C1-4 西村俊昭 (農薬), SIB を活用した小さな自然再生	D1-4 本庄孝子 (元産総研), バイオマスの過去から学び, 未来への展望
分野	A1(2)【測定技術】P賞	B1(2)【バイオマス】P賞	C1(2)【バイオ燃料】	D1(2)【新型コロナウイルス対策】
10:45 ～ 11:00	A1-5 青山望奈美 (県立広島大), 3次元蛍光スペクトル測定と画像学習 AI による環境試料の差異判別のための手法開発	B1-5 井村和榮 (室蘭工業大), 酢酸発酵させたチーズホエーを基質とした生分解性プラスチック生産の向上	C1-5 大沼みお (広島商船高専), 微細藻類のバイオ燃料に関する研究(1) - 温泉由来緑藻の高油脂生産性培養系の開発	D1-5 藤長愛一郎 (大阪産業大), マルチエージェントモデルを用いた避難所における新型コロナウイルス感染症対策
11:00 ～ 11:15	A1-6 池本祐大 (大阪工業大), Cl ⁻ を滴定で迅速定量する改良ファヤンス法	B1-6 神舎拓朗 (大阪大), <i>Euglena gracilis</i> のバイオマス・パラミロン生産に及ぼす有機物及び pH の影響の評価	C1-6 村上定瞭 (広島商船高専), 微細藻類のバイオ燃料に関する研究(2) - 油脂生産性微細藻の海上培養系の設計と運転	D1-6 中尾賢志 (大阪市立環境科学研究センター), IoT 技術を用いた飛沫拡散防止策の評価とモニタリング
11:15 ～ 11:30	A1-7 出田七輝 (大阪産業大), 異なる照射装置を用いた水銀フリー光源による紫外線照度の評価	B1-7 陳奕人 (京都市大), 牛ふん堆肥化の肥料効果と抗生物質耐性遺伝子低減に及ぼす熱加水分解前処理の影響	C1-7 土佐光司 (金沢工業大), ジャトロファ BDF のフローマイクロ合成とホルボールエステルの挙動	D1-7 上野裕士 (内外エンジニアリング), 新型コロナウイルス都道府県別感染者数の分析に関する試論(2)

分野	A2(1)【環境動態】P 賞	B2(1)【微生物】P 賞	C2(1)【下水・汚泥処理】	D2(1)実務・社会貢献賞
12:30 ～ 12:45	A2-1 財津実歩 (立命館大), 雨天時道路排水の水質と生態毒性に関する実態調査	B2-1 寺山拓臣 (室蘭工業大), 土壌微生物及び PHB フィルム付着菌の量的評価による分解速度の評価	C2-1 下村颯太 (宇部工業高専), 製鉄時に発生する排水および汚泥処理システムの開発	D2-1 上森勇輝 (日吉), 環境保全技術を活かした次世代への教育活動の実践
12:45 ～ 13:00	A2-2 Ramayadi (岐阜大), Co-existence of <i>Uroglena</i> sp. with other microalgae species in surface water : effect of water temperature	B2-2 江口紘生 (立命館大), ラボスケール人工湿地によるアゾ染料の除去とその分解菌の特徴づけ	C2-2 今井剛 (山口大), 下水管内における硫化水素の発生抑制を可能とする導電性コンクリートの開発	D2-2 伊藤峻 (宮城教育大), 新たな河川環境保全技術としての低コスト型切欠き魚道の普及と啓発
13:00 ～ 13:15	A2-3 Nay Lin Maung (Kyoto Univ.), The influence of clearcutting on mountain stream water chemistry in Miyazaki prefecture	B2-3 Sri Anggreini (岐阜大), Access possibility of antibiotic resistance genes into the pore of different types of activated carbon	C2-3 日高平 (京大), 自己造粒藻類による排水からのエネルギーおよび放射性物質の回収	D2-3 古武家善成 (前神戸学院大), 都市河川を中心とした身近な河川の再評価活動
13:15 ～ 13:30	A2-4 川口諒 (九州大), 東京湾の赤潮の発生予測-ロジックモデルを使って-	B2-4 Su Haoning (岐阜大), Occurrence and fate of antibiotic resistance genes in large-scale Johkasou treating residential area wastewater	C2-4 越川博元 (龍谷大), 尿または下水添加によるリンおよび金属の同時除去とその回収	D2-4 辻内宏幸 (近畿地域づくりセンター), 公共用水域における大腸菌数の分布特性
13:30 ～ 13:45			C2-5 惣田訓 (立命館大), 藻類・細菌系による有機物・窒素除去に及ぼす汚泥滞留時間の影響	D2-5 中村嘉伸 (昭和興業), 排水処理技術を活かした小規模陸上養殖の可能性
分野	A2(2)【水環境】P 賞	B2(2)【嫌気性消化】P 賞	C2(2)【下水・汚泥処理】	D2(2)【湖沼・河川環境】
13:45 ～ 14:00	A2-5 張卓安 (立命館大), 散水ろ床と人工湿地を組み合わせた廃水処理システムの処理性能の季節変化	B2-6 末田海 (山口大), 温度変化による嫌気性細菌の構成とその菌叢変化に関する研究		
14:00 ～ 14:15	A2-6 小田健太 (県立広島大), 過酢酸製剤による下水中ウェルシュ菌芽胞の不活化	B2-7 長尾慎太郎 (大阪大), バイオオーグメンテーションによる嫌気性消化への高濃度塩分阻害の緩和	C2-6 春川陵 (兵庫県立大), 無機イオン交換体としての <i>Ivanyukite</i> のカチオン吸着特性	D2-6 大久保卓也 (滋賀県立大), 琵琶湖における漁獲量の長期変化と各種環境因子変化との関連分析
14:15 ～ 14:30	A2-7 堀川虎之介 (東京工業大), 海水と液体金属流体との直接接触による淡水生産技術に関する研究	B2-8 Song Liuying (東北大), Bicarbonate and pH play critical roles in anaerobic digestion of methanolic wastewater	C2-7 銭允致 (東北大), 流動担体型一槽式 PNA 法の処理性能と生物膜成長に関する研究	D2-7 根来健 (滋賀県立琵琶湖博物館), 琵琶湖のプランクトンの種類及び量の遷移を評価する際の問題点
14:30 ～ 14:45			C2-8 渡辺信久 (大阪工業大), 燃焼排ガスから HCl を排除して Cl ₂ を検出する方法について	D2-8 瀧和夫 (NPO 水環境研), 印旛沼流域の谷頭湿地帯における水質特性
14:45 ～ 15:00			C2-9 水谷聡 (大阪公立大), 熱回収残渣を含む焼却残渣からの S 及び Cl の溶出挙動	D2-9 牧野奏佳香 (京大), 日本全国における溪流水水質の分布とその経年変化～シチズンサイエンスによる広域再調査の試み
15:30～17:30	講演会 (202 講義室) 『温故知新の雨庭(あめにわ)グリーンインフラ』 講師: 京都大学農学部名誉教授 森本幸裕 司会: 古武家善成 (前神戸学院大学)			
17:30～17:45	表彰式(202 講義室) <論文賞, プレゼンテーション賞, 実務・社会貢献賞>			
18:00～19:30	交流会 (会場: 未定)			
誌上发表	P1-1 張 裕喆 (室蘭工業大), <i>Bacillus cereus</i> CS-1 株の最適培養条件の検討と PHA 生産 P1-2 大上嵩洋 (室蘭工業大), 高山域由来 PHB 分解菌による PHB 分解最適条件の検討 P1-3 泉山信司 (国立感染症研), 水道原水からの高濃度なクリプトスポリジウムの検出事例			